

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			・多機能事業所の利点を活かし、複数の活動部屋やスペース等を目的や状況に応じて活用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	4			・正規職員のみを配置している。活動内容や状況に応じて、成人事業所の職員や運動等の支援専門職員の配置も行い、活動の充実と安全配慮を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	1	・一般企業の建物からの改築の為、一部バリアフリー化が困難な箇所がある。 ・館内に一部バリアフリー対応が難しい部分がある為、対象者に合わせて検証や工夫を行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			・法人ホームページに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4			・法人として第三者評価を実施している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			・法人内研修だけでなく、外部研修にも積極的に参加している。 ・外部研修に参加し、法改正や虐待防止等の理解向上の機会を設定している。
適切な支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			・放課後等デイサービスガイドラインの4領域に沿った支援計画を作成し支援を行っている。 ・放課後等デイサービスガイドラインに基づいた支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2		・個別にアセスメントを実施しているが、標準化されたツールの使用については試行検討中である。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			・支援専門スタッフとも連携し、活動内容の振り返りを行い活動プログラムを設定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1		・支援専門スタッフによる活動は固定曜日での実施になる為、他曜日での活動内容を工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1		・休校日は可能な範囲で、平日と異なる余暇活動を設定している。 ・長期休暇期間は多機能事業所の利点を活かし、成人利用者との合同活動を取り入れている。

援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			・毎日の朝会、毎月の会議を実施し、情報共有、振り返り等を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			・毎日の朝会、毎月の会議を実施し、情報共有、振り返り等を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1		・年2回の個別支援計画の振り返りを通じて対応、見直しを判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4			・保護者了承の下、学校との情報共有、連携支援等、積極的に行っている。 ・下校時の引継ぎや連絡帳を通して情報共有を図っている。 ・必要に応じて、学校と連携し通院同行支援も行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2	1	・ハード面、ソフト面共に、十分な体制での医ケア児の受け入れを現在は想定していない。 ・現在、医ケア児の受け入れはしていないが、医療面で留意が必要な児童は、法人の医務と連携を取りながら安全な支援に努めている。 ・医ケア児の受け入れ実績はないが、通所児童の医療面健康面は、家族、学校、法人医務、(主治医からの指示情報は家族を通じて)と連携し、情報共有している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	1	1	・コロナ禍の為に中断していたが、徐々に関係機関との情報共有を再開し始めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4			・本人、家族の承諾の下、要請に応じて実施している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	3	・ご家族から要望が得られていない。 ・多様性の支援として、地域交流の機会を設定している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			

保 護	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			・法人の医療相談やPT診断、必要に応じた情報提供を行い、面談や電話、メールでの相談等を行い、保護者の負担軽減に繋がるよう支援している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1		・家族連絡会を実施しているが、保護者同士の十分な連携まで至っていない部分がある。

障害者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			
	35	個人情報に十分注意しているか	4			・年1回、個人情報等について同意書を交わしているが、写真等状況に応じて再度確認の上掲載している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4			・コロナ禍以前に実施していた、事業所祭りを再開し、地域住民を事業所に招き交流の機会を実施した。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			・法人研修として人権、権利擁護に関する研修を行い、虐待防止については事業所内でのグループワークの機会や定期的にセルフチェックを行い、振り返りの機会を設定している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1		・事例集は作成していないが、事故報告とヒヤリハットは書面化し、情報共有と検証を行っている。